TOPICS 3

トピックス…③

オーストラリアの安価で新鮮な牛乳供給を維持するための公正な小売価格

オーストラリア全州の酪農家を代表する７つの業界団体は2026年４月28日、小売業者や生乳加工業者に対し、小売価格の持続的な引き上げを実施し、安価で新鮮な牛乳の供給可能性を担保するよう求めた。ここでは、ADFニュース（2026年４月28日）を基に、その概要を紹介する。

オーストラリア酪農連盟（ADF）、ニューサウスウェールズ酪農協会、東オーストラリア酪農協会、南オーストラリア酪農協会、タスマニア酪農協会、ビクトリア州酪農協会、西オーストラリア酪農協会など７つの業界団体は、オーストラリアにおける生乳生産コストの上昇を反映した牛乳小売価格を実現することの緊急性について合意した。各州の酪農家を代表するこれら業界団体は、小売業者や生乳加工業者による最近の支援措置は歓迎すべきものの、酪農家にとっては十分でなく、生乳生産を継続するための長期的な確実性が担保されていないと述べている。

酪農家や生乳加工業者は、肥料や燃料の価格上昇、気候変動の継続、小売価格の変動、そして世界情勢の不確実性の増大など、さまざまな重大な課題と戦っている。そのため各州の業界団体は、小売業者が生乳加工業者や酪農家にまで届く透明で持続可能な価格シグナルを伝えるべきだと主張している。

各業界団体の代表者のコメントは次のとおりである。

（１）ADF（ベン・ベネット会長）

オーストラリアの消費者は現在、先進国で最も安価で新鮮な牛乳の供給を享受しているが、一方で酪農家は生産コストの高騰に直面している。The Weekly Timesの調査によると、ニュージーランドの消費者は国産ブランド牛乳１リットル当たり$A 2.64、カナダでは同$A 2.20、フランスでは同$A 2.44、南アフリカでは同$A 2.05、米国では同$A 2.05を支払っており、いずれの国もオーストラリアでの小売価格を上回っている。

ADFは、オーストラリア酪農に打撃を与えている生産コストの上昇圧力を一時的に緩和するために、大手スーパーマーケットと主要な生乳加工業者が価格支援措置を実施したことを歓迎している。しかし、牛乳小売価格のわずかばかりの引き上げは、酪農場が存続し続け、栄養豊富で貴重な乳製品の供給を継続するのに役立っているが、その価格の引き上げ分がサプライチェーンを通じて酪農家に還元される場合に限られている。

牛乳はオーストラリアの家庭にとって依然として必需品であり、国民の食生活の基盤である。牛乳はオーストラリアの家庭が毎日消費する欠かせない栄養豊富な食料であり、今日の公正な価格設定こそが、明日もオーストラリア産の牛乳が食卓に提供されることを保証する。

ADFでは、オーストラリアの酪農家とその州の業界団体に以下のことを呼びかけている。

① 持続可能な生産者乳価を生産コストに連動させること（例えば、牛乳小売価格の１リットル当たり約30セントの引き上げ）

② 小売から酪農家までの価格の流れの透明性の向上（生乳加工業者を通じた価値の確実なパススルーの確保）

③ 乳業行動規範のより明確かつ遵守の強化

（２）ニューサウスウェールズ酪農協会（マルコム・ホルム会長）

現状の構造的変革なしには、生乳生産の持続可能性はない。酪農家は市場価格を受け入れざるを得ない立場だ。つまり、かれらは受け取る価格をコントロールできないのに、コストの上昇という負担を背負っている。

（３）南オーストラリア酪農協会（ロバート・ブロークンシャー会長）

個々の小売業者による最近の価格引き上げの取り組みは正しい方向への一歩であるが、それだけでは十分ではない。確認された小売価格の上昇の中には特定の契約出荷生乳に限定されたものもあれば、一時的なものもある。また、それらは酪農家が必要とする長期的な確実性を提供していない。

（４）東オーストラリア酪農協会（ティム・ベール会長）

持続可能な価格の設定が生乳供給の維持に不可欠だ。クイーンズランド州とニューサウスウェールズ州の酪農家は、地元の新鮮な牛乳市場に大きく依存しており、主要スーパーマーケットとの加工販売契約の影響を大きく受けている。したがって、牛乳の小売価格の大幅な上昇は、長らく待ち望まれていることである。また酪農家は、サプライチェーンのすべての段階でマージンが確保されなければ、生産者乳価が上がり続けることはないと認識している。

（５）ビクトリア酪農協会（バーニー・フリー会長）

公正な価格設定が国内の酪農業界を維持するために不可欠だ。これは、オーストラリアの消費者が地元産の新鮮な牛乳や乳製品にアクセスし続けられるようにするための条件でもある。

（６）西オーストラリア酪農協会（イアン・ノークス会長）

酪農業界は生産コストと資材価格の圧力の高まりに対処しなければならない。原材料価格は上昇し続けているが、これに生産者乳価は追いついていない。構造的改革がなければ、酪農家への圧力はさらに強まるだけだ。

（７）タスマニア酪農協会（アンドリュー・オルドリッジ会長）

公正な小売価格の実現に向けた全国統一的な取組が不可欠だ。コスト圧力は小売だけでなく、すべての生乳加工業者に生乳を供給する酪農家にも及んでおり、この取組は食品サービスや輸出に特化した業界にも拡大されなければならない。その取組に、酪農家が取り残されないようにしなければならない。コストが上昇する中で、価格設定には機敏さが必要であり、値上げがサプライチェーン全体で共有されなければ、酪農業界は継続的なコスト増加に対応できなくなるからである。